

平成26年度ユニバーサルデザイン（UD）教育の取組

1 学校名	佐賀県立杵島商業高等学校		
2 所在地	佐賀県杵島郡大町町大字大町 2039		
3 校長名	木村 もと		
4 学級数 児童生徒数	9学級 350人	5 実施学年 児童生徒数	2年 114人

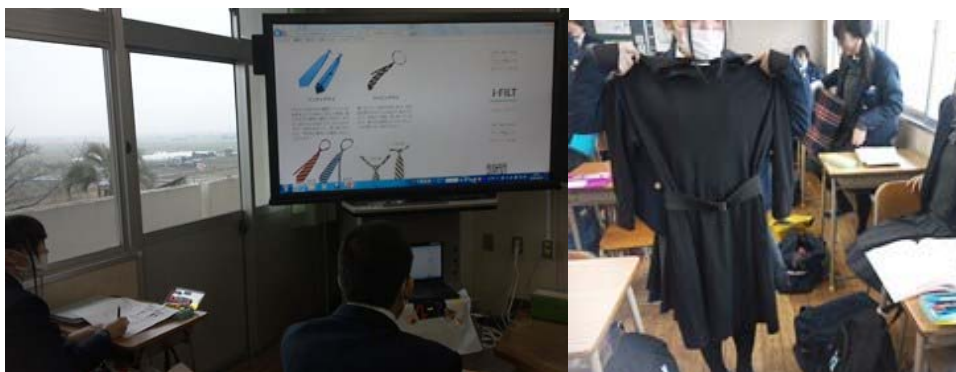
6 取組のねらい

ユニバーサルウェアを紹介することで、工夫次第でライフステージや個人の特徴に応じた一層快適な衣生活ができるようになることを理解させる。また、幅広い年代やさまざまな体型で着用できることから、多様な個性や違いを理解し、すべての人を尊重する意識や思いやりの心をはぐくみたい。

7 取組の実際

○インターネットを利用して、簡単に装着できるネクタイや着脱が簡単な寝間着、男女年齢に問わず着用できるスポーツウェアなどを調べた。

○実際のユニバーサルウェア（ワンピース）を紹介し、さまざまな体型で着こなしの工夫ができることを試した。



8 取組の成果と課題

高校生にとって年齢を重ねることは否定的に捉えがちであるが、ユニバーサルウェアの学習を通して、年齢を重ねても工夫次第で豊かな衣生活を送ることができると肯定的なイメージが湧いたようだ。

生きる上で欠かすことができない衣服は、体型変化や体の機能の障害などが生じた場合でも、ユニバーサルウェアがあることでいつまでも楽しむことができることを学んだ。

思いの込められたさまざまな商品を調べることで、ユニバーサルデザインの思いやりの気持ちを汲み取ることができたようだ。

今後も、生徒にいろいろな機会ユニバーサルデザイン教育を継続的に行い、ユニバーサルデザインの理念の定着をはかりたい。